

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成16年度		根拠法令・規程等 備前市諸島地区高齢者福祉船運航事業実施要綱	
総合計画	大項目	基本目標	02		健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01		やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04		高齢者福祉
事務事業名		06	諸島地区福祉船運航事業		
		問合先	担当課(室)	市民窓口課(日生)	
			職・氏名	副参事・藤原 弘章	
			電話	72-1104	

事業の実施		備前市日生町の諸島地区に居住する満70歳以上の方、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳の交付を受けている方	
対 象 (誰・何に対して)	目的 (何のために)	諸島地区の高齢者等の行動の自由を確保し、引きこもりなどを予防するとともに市内の活性化を図る	
行政活動 (どのような方法で)	事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	諸島地区の高齢者等が一般旅客定期航路船を利用する場合に運航会社と市が委託契約を締結し、その料金を割引する(1回の乗船で100円均一の料金とする)	
		諸島地区の高齢者等できるだけ地理的条件を克服し、障害なく行動できるようにする	

事業の実績					
活 動	実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	申請者数	人	235	236	233
	延利用者	人	19,100	18,777	19,816
実 績	事業費	千円	6,969	5,698	5,720
	必要人員	人	0.40人	0.25人	0.06人
	必要人件費	千円	3,140	1,652	394
	事業費計	千円	10,109	7,350	6,114
財 源	国 支 出 金				
	受 益 者 負 担 金				
	繰 入 金				
	市 債				
その他()					
一 般 財 源			10,109	7,350	6,114
受 益 者 負 担 比 率		%			

結果指標名		単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	申請者数	説明	この事業を利用するための申請者数		
	結果指標量	人	235	236	233
	対 前 年 比	%	-	100.4%	98.7%
	活 動 コ ス ト	円	10,109,000	7,350,000	6,114,000
結果指標②	延利用者	説明	この事業を利用して定期船に乗船した年間延人数		
	結果指標量	人	19,100	18,777	19,816
	対 前 年 比	%	-	98.3%	105.5%
	活 動 コ ス ト	円	10,109,000	7,350,000	6,114,000
単 位 当 たり コ ス ト		円	529	391	309

事業の成果						
利用回数(1人当)	成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	到達目標年度	目標値(A)	90	90	90	90
		実績値(B)	81.3	79.6	85	到達目標年度
		達成率(B/A)	90.3%	88.4%	94.4%	平成21年度

1人分の年間利用回数=延利用人数/申請者数

事業の目的、対象、内容を考えながら目的・意図の達成性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある		妥当性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 この事業により離島の高齢者等が本土の公共機関、病院、諸行事への参加など社会生活への参加が促進されており、離島で暮らす地域的ハンデの解消に役立っている
市の関与の妥当性	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明		
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 平成19年度から利用者負担金(1回の乗船につき100円)をいただいておりコストは軽減されている
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		有効性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 この事業を必要としている離島の対象者はほぼ申請を済ませ、事業を利用している
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている		

平成21年度の状況		245	結果指標量②	90	成果指標量	90	
目標値	結果指標量①	245	結果指標量②	90	成果指標量	90	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	平成19年度の6月から利用者負担金をいただいているが、21年度も引き続き同様に事業の継続を行っていく						

総合評価		評価区分 <A~E> C	
平成19年度から利用者負担を導入したことにより、この事業に対する妥当性、効率性が向上したものと考えられることから、本事業が当該目的に則り安定的に継続していくことができるものとする			

平成22年度以降の方向性・内容		245	90	90			
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	日生大橋(仮称)が完成するまでは、離島という地理的条件に鑑み、福祉サービスの観点からも現状の事業形態を維持していくべきと考える						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			